

# BMPボードを試作

新機能素子研究開発協会

所と共同で開発した脳模倣

型プロセッサー(BMP)

(写真)

を試作。BMPの

性能評価を始めたと発表し

た。BMPはニューラルブ

オグラム」を題材に、それ

を実現する独創的なソフト

ウェアを開発する。

通信ソサエティーは四日

午前九時半から「大丈夫

か?情報通信の専門教育

をテーマにパネル討論を開く。この模様はインターネット

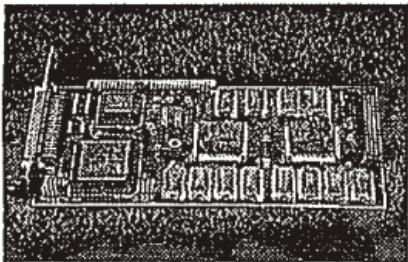
上で中継される(アドレス

はhttp://www

.iieice.or.jp

/cs/jpn/inte

rnet/socket)。



評価を実験した。

この研究は通産省の産業科学技術研究開発制度「基

づいて九六年度補正予算で

取り組まれた先導研究「脳

型コンピューターアーキ

テクチャ」のフィジリ

ティ研究として電総研と

共同で行われている。

BMPは百万トランジス

タからなるシーケン

タの神経細胞素子を構成

現である。人間の脳と同様

か、ニューラルプロセッサ

ーで初めて時間概念を持つ

学習機能を組み込んだ。

十九件のテーマに亘り十

八の研究機関が性能評価を

依頼すみで、BMPの性能評価と応用を探っていく。

バターンの正確な認識・識別、滑らかな運動制御など

MPを一個搭載。BMP一

百個まで並列動作できる。

学習機能やデータベースの

獲得、文字認識などの多様な

場の早稲田大学理工学部でソサエティー大会を開く。

基礎・境界、通信、エレクトロニクス、情報・システ

ムの四つのソサエティーが秋季に連合して開く講演会で、マルチメディア社会を支える次世代通信技術やシ

ステム技術などを研究成果が多数発表される。

秋季講演会は各ソサエティーの独自企画で構成。情

報・システム・ソサエティーは若手研究者の才能発掘などをねらいにアルゴリズムコンテストを開く。両眼視差による立体画像「ステレ

ネル討論を開く。